



2022年11月24日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<https://www.kaiyukan.com/>
(担当：萱島、新谷、松村、松元、柿本)

～ ジンベエザメの生態解明を目指して ～ 海遊館初 クラウドファンディングに挑戦します

海遊館（大阪市港区）は、長年取り組んでいるジンベエザメの生態解明を目指した調査・研究を更に発展させるため、クラウドファンディングに挑戦します。

海遊館で1990年の開館以来、飼育展示や調査研究を続けているジンベエザメは、実は世界的に生息数が減少しているとされており、国際自然保護連合（IUCN）の定める世界の絶滅の恐れのある生物リスト「レッドリスト」には絶滅の危険が増大している種（Endangered）に分類されています。

しかし、ジンベエザメの生態はまだ謎が多く、生息域や移動経路、そして個体数など、適切に保全を行う上での生態学的な情報が不足しているのが現状です。



ジンベエザメ

海遊館ではそんなジンベエザメの生態解明のため、様々な調査・研究をおこなっています。中でも、小型の記録装置を用いて外洋でのジンベエザメの行動（回遊ルート等）を調査する「バイオロギング」という調査に力を入れています。

しかし、バイオロギングは機器が高額である事や、データの回収率がよくはない事などから、現状として十分なデータが取得できていません。また、ジンベエザメがどういった生き物なのかなどはまだ多くの方に知られていません。

そこで、クラウドファンディングに挑戦し、より多くの調査機会を得るとともに、皆様にジンベエザメのことや海遊館の取り組みを知っていただきたい、皆様とのつながりを深めたい、と思っています。

クラウドファンディングについての詳細や返礼品、過去の調査実績などは2枚目以降

本件に関する広報お問い合わせ先

海遊館広報 06-6576-5529

【 ジンベエザメ について 】

■英名 : Whale shark ■学名 : *Rhincodon typus*

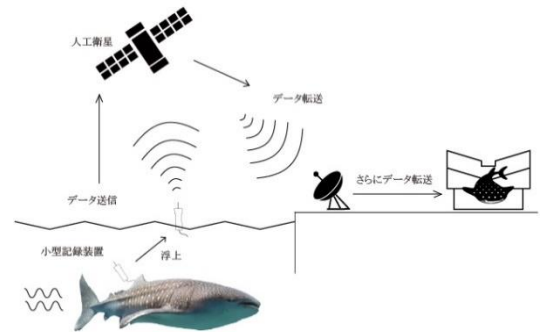
温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。小型甲殻類などのプランクトンを食べ、成長すると最大で10~12mになり、さらに大きく成長する可能性もあると考えられています。

海遊館では現在、「太平洋」水槽にて2頭のジンベエザメを飼育・展示中です。

【 バイオロギング について 】

バイオロギング (Bio-logging) とは、生き物に小型の記録装置 (データロガー) を付けて、その生き物 (Bio) が自ら記録 (logging) した行動を解析する研究手法です。近年、様々な生き物を対象に研究が進み、その成果が世界中で注目されています。

海遊館では2011年より北海道大学とジンベエザメの回遊経路を共同研究しています。小型記録装置は計画した調査期間が経つとジンベエザメの体から自動的に外れ、記録されたデータが人工衛星を経由して得られます。記録項目は、回遊経路 (位置) と遊泳水深、水温です。

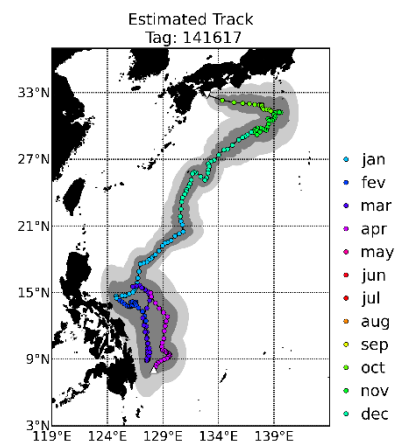


回遊経路調査 イメージ

【 過去のバイオロギング調査結果と課題 】

2015年に実施した6ヶ月間の調査では、高知県土佐清水市を出発したジンベエザメは東へと回遊した後、フィリピン海域まで回遊したことが判明しました。他の調査では水深1,800mを超える深海域を回遊していることや東北や千葉県沖へ回遊していることを示すデータなどが得られています。

このようなデータを蓄積することによって、ジンベエザメの回遊経路をより正確に推察することができます。また、長期間の調査を行うことによって得られるデータ量は増加しますが、同時に機器の故障などのトラブルが発生する可能性も増加し、データの回収率が低くなります。加えて、機器が非常に高額であることもデータ蓄積が進まない一つの要因です。



2015年回遊経路調査 データ

過去のバイオロギング調査結果

年	期間	最大潜水深度 (m)	回遊経路
2011・2012 データ得られず			
2013	1ヶ月	632m	高知県以布利沖から千葉沖まで北上
2014	3ヶ月	1,560m	高知県以布利沖から東北沖まで北上後、千葉県沖まで南下
2015	6ヶ月	1,500m 以深	高知県以布利沖から東へ移動し、黒潮海流に合流する付近で南に方向を変えフィリピン南部まで南下。その後、フィリピン北部あたりまで北上し、再度南へ
2016~2019 データ得られず			
2020・2021 実施せず			
2022	1ヶ月	1867m	高知県室戸沖から西へ移動し、高知県土佐清水市沖の黒潮海流に合流する付近で東に方向を変え千葉県沖まで移動。

【 今回のクラウドファンディングについて 】

資金の用途： ・ バイオロギングの機器購入 ・ 調査研究の作業費 ・ その他諸経費 等

目標金額：500万円

形式：All in形式（目標金額を達成しなかった場合も実施）

実施期間：2022年12月1日～2023年2月28日

プラットフォーム：エールレール (<https://yell-rail.en-jine.com/>)

目標：短期間の回遊経路把握を目標にデータ回収を目指し、以降長期間のデータ回収に着手します

第1目標：1ヶ月間の回遊経路データを3個体分回収する

第2目標：3ヶ月間の回遊経路データを2個体分回収する

第3目標：6ヶ月間の回遊経路データを2個体分回収する

【 返礼品について 】

海遊館にまつわる様々な返礼品を準備予定です。

支援額	個数	返礼品
1,000円	-	お礼メールのみ
3,000円	300	「限定」アクリル2連キーチェーン
	-	お礼メールのみ
5,000円	50	海遊館オリジナルカレンダー(12月支援者限定)
	300	「限定」ピンバッチ
	300	「限定」ミナミイワトビペンギンの羽入りキーホルダー
	-	お礼メールのみ
10,000円	100	「限定」トートバッグ + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	25	海遊館入館引換券大人1枚 + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	-	お礼メールのみ
15,000円	50	ぬいぐるみエラ付ジンベエザメ + 「太平洋」水槽の底砂
	-	海遊館入館引換券大人2枚 + 「太平洋」水槽の底砂
20,000円	10	カマイルカのおもちゃ + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	5	ゴマフアザラシのひげ + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	5	ワモンアザラシのひげ + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	10	サメの卵の殻 + 「限定」アクリル2連キーチェーン
30,000円	10	ワモンアザラシの換毛で抜けた毛 + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	1	エトピリカの嘴覆 + 「限定」アクリル2連キーチェーン
	10	飼育員ナイトツアー(4/22 10名)
50,000円	2	ジンベエザメ飼育員セット(ジンベエザメの柄杓 + 給餌バケツ)
	10	ジンベエザメの歯 + 海遊館館長による証明書
100,000円	4	ジンベエザメ給餌体験(3/5・3/12：1日2名 AM/PM各1名)
	4	ワモンアザラシ給餌体験(4/1・4/2：1日2名 AM/PM各1名)
	1	飼育員体験 魚類コース(4/23 調餌・清掃体験、給餌見学 1名)
	1	飼育員体験 海獣コース(4/22 調餌・清掃体験、給餌見学 1名)
300,000円	-	館長と一緒に海遊館を周るプレミアムツアー

【 海遊館館長より 】

ジンベエザメのことをもっと知りたい。

地球で最も広大な海“太平洋”を回遊し、いろんな地域を通して日本沿岸を訪れるジンベエザメ。

その姿は雄大で、太陽が差し込む海中を、なめらかに泳ぐ姿は、美しさと生命の尊厳を感じさせてくれます。多種多様の生命を育ててきた海、そして地球の美しさと面白さに、興味が尽きることはありません。

ジンベエザメが行う地球規模の回遊生態を調べ、未来に向けて脈々と命のリレーを続けていくことが出来るよう配慮していくことは、地球規模の環境を考えることにつながると思います。

しかしながら、ジンベエザメの暮らしについて、私たちはまだ知らない事ばかりです。それどころか、どのような方法で調べればよいのかさえ、わからないこともたくさんあります。海遊館だけで出来ることは多くなく、さまざまな分野の方々と協力し合い、一歩ずつでも前に進み、探求を続けていきたいと思っています。また、日本に限らず、ジンベエザメが暮らす地域の方々と共に、この課題に取り組めたらと願っています。

海の中のこと、遠い地域で起こっていることは実感しにくいかもしれませんが、しかし、ジンベエザメの暮らしを想像することで、多くの人の気持ちがつながり、この美しい海と地球、そして生命を、将来の世代に届けていきたいと思っています。

海遊館館長 村上 寛之



ジンベエザメの歯と証明書



ジンベエザメ給餌の様子



サメの卵の殻



「限定」 ミナミイワトビペンギンの羽入りキーホルダー

本資料の情報は2022年11月24日現在のものです。予告なく内容を変更、または中止する場合があります。